

資料でたどる

# 古典芸能の舞台神戸

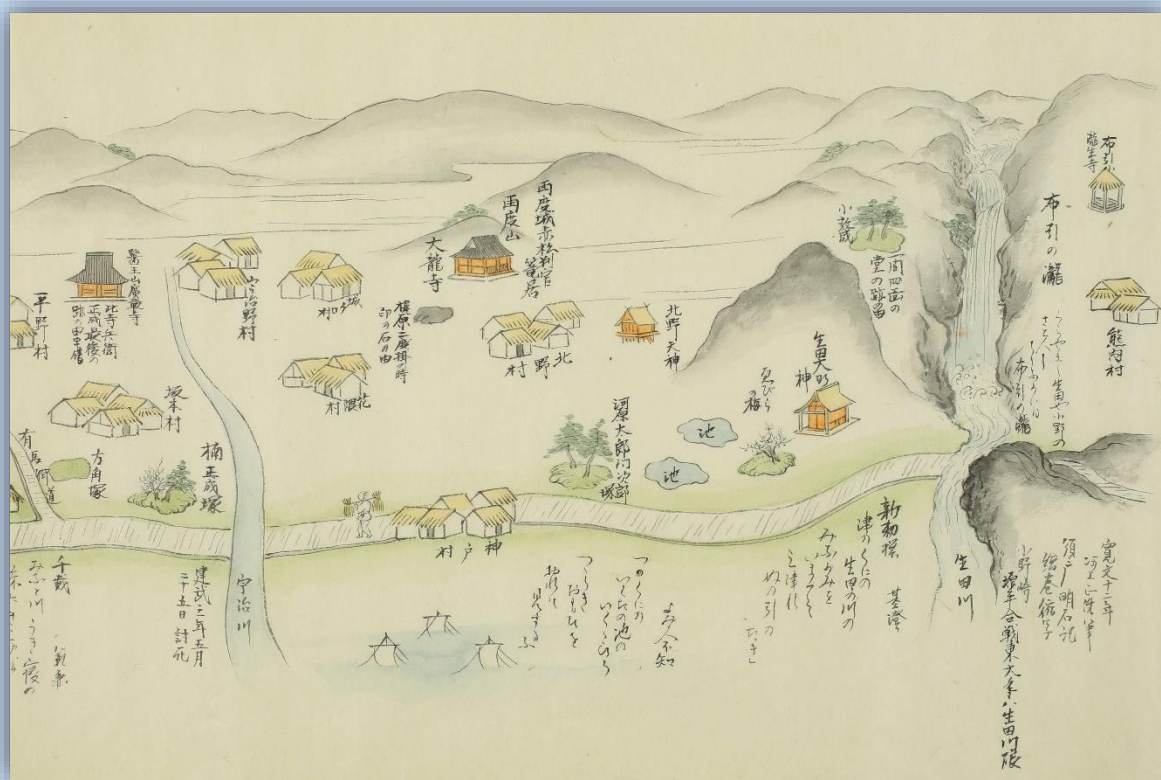
期間：令和4年6月22日(水)～9月2日(金)

土・日・祝日休室 \*8月12日(金)～19日(金)夏期休室

時間：午前10時～午後5時

場所：神戸女子大学古典芸能研究センター展示室

(神戸市中央区中山手通2丁目23-1 神戸女子大学教育センター2階)



『須磨明石名所絵巻 縮写』(神戸女子大学蔵) 冒頭部分

古典芸能研究センターは、開設20周年の記念出版物『伝説・物語の神戸を歩く』を間もなく刊行します。今回の展示は、この本の構想をもとに昨年秋に須磨離宮公園で開催した「資料でたどる古典芸能の舞台 神戸」の内容を、構成をかえて再展示します。そして、新たに、本で紹介した本学所蔵『須磨明石名所絵巻 縮写』の原本を初公開します。

神戸の地は、万葉のいにしえの時代から、多くの文学作品や古典芸能に登場しています。展示では、古典芸能にゆかりのある神戸の名所旧跡をとりあげ、江戸時代の名所図会類の記事や現在の様子などを、芸能作品とともにパネルと資料でわかりやすく紹介しますので、ぜひご覧ください。

神戸女子大学古典芸能研究センター TEL：078-231-1061

<https://www.yg.kobe-wu.ac.jp/geinou/>

\*新型コロナウイルス感染症の感染予防・拡散防止のため、今後の状況によりやむを得ず閉室とする場合がございます。最新情報はホームページでお知らせいたしますが、念のため事前にお問い合わせください。

